

テーマ

グローバル化時代を読み解く

適用分野

国際貿易、海外直接投資、為替レート、中国経済

研究名称

現代中国経済－その強さと脆さ－
為替レートから眺めた国際経済

氏名所属

青木浩治 教授
経済学部 経済学科

内容

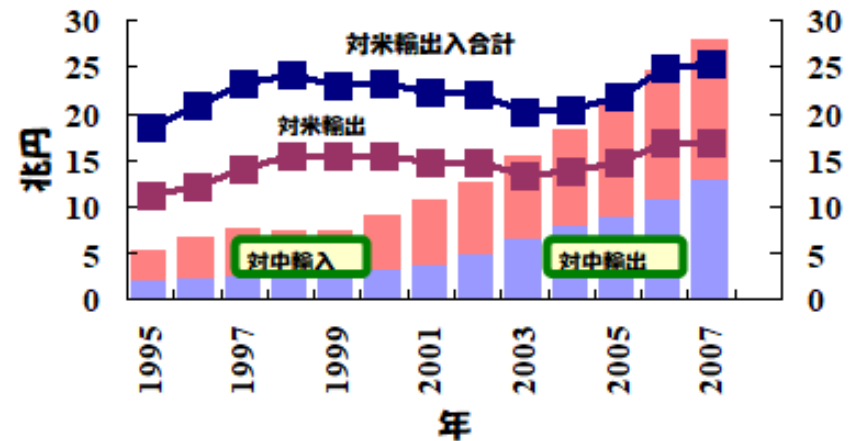
●特徴

現代日本経済の動きは地球的規模で動く国際経済との関連の中でしか理解できなくなっています。こうした広い視野から現代国際経済を貿易・海外直接投資・為替レートを軸に研究しています。

●研究内容

今後の日本を読み解く一つの鍵は、世界経済を動かす力学を探ること。90年代後半からごく最近まで、その中心はアメリカでしたが、同時に新興市場経済と呼ばれる一群の国の台頭が顕著です。そのうち、お隣の韓国・台湾や東南アジア、さらには最近では中国・インドの台頭に目配りする必要が生じるようになりました。これらの新しく台頭した新興経済がどのようにして今日の地歩を築いてきたのか、またそれらが日本経済とどのように関わっているかを理解しておくことが必須の研究課題なのです。

これら課題のうち、現在は主として中国経済が台頭する構図を研究し、あわせてその国際経済との関わりを分析しています。表面的な華々しさとは異なり中国は意外にシンドイ社会で、少子・高齢化社会の到来がま近に迫っています。残され時間はそれほど多いようには思われません。



<2007年に日本の貿易相手国第一位がアメリカから中国に交替した>

キーワード

グローバル化、現代中国経済

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究